

地方都市視察報告書

文化観光産業等特別委員会

1 実施日

令和6年11月11日（月）

2 視察地 高知県高知市

【市の概要】

(1) 面積 309.00km²

(2) 人口・世帯数

(令和6年11月1日現在)

人口 313,626人

世帯数 154,076世帯



(3) 高知市は、四国南部のほぼ中央に位置し、北方には急峻な四国山地があり、その支峰である北山に源を発する鏡川の下流域を中心に形成される都市である。明治22年に高知市が誕生した後、幾度もの合併を経て、現在では県民人口の4割以上の人暮らし中核都市として南四国の発展を支えている。

慶長6年の山内一豊の入府以来、土佐藩の城下町として発展した都市であり、明治維新や自由民権運動に大きな役割を果たした人材を多く輩出しているため、高知城や坂本龍馬、板垣退助のゆかりの地など、歴史を色濃く感じることできるスポットが豊富に点在している。

現在では、全国に先行して進む少子高齢化対策、南海トラフ地震対策など、将来にわたる課題への早急な対応が求められている。

3 視察項目・内容

魅力ある観光地を形成するための事業について

4 視察参加者

【委員】

下村 治 生委員長、 井下田 栄 一副委員長、 高 阪 まさし委員、
三 沢 ひで子委員、 山 口 かおる委員、 佐 藤 佳 一委員、
渡 辺 やすし委員、 古畑 まさのり委員、 の づ ケ ン委員

【随行】

議会事務局議事係 波多野 浩二、 鶴城 美里

5 視察結果・所感

高知市では、桂浜公園の現地視察を行った後、魅力ある観光地を形成するための事業について説明を受け、質疑を行った。

高知市が策定した2024年度から2028年度までの5年間を対象とした「高知市観光振興計画」において桂浜公園は市内有数の観光拠点として重要な位置づけがされており、公園の再整備や魅力向上の取組を通じて、市全体への観光客の周遊促進を図る取組が進められている。

桂浜公園では、令和4年度から包括的指定管理者制度を導入し、民間のノウハウ活用による効率化・収益性向上・サービス向上を図るとともに、季節ごとに工夫を凝らしたイベントを実施するなど、桂浜公園を訪れた観光客の消費喚起と周遊拠点としての機能強化を図っている。

また、SNSの運用については、ハッシュタグキャンペーンなどを実施する外、若手職員が自らの感性で積極的に情報発信を行い、イベント会場では必ずQRコードを配布するなど、公式インスタグラムを知ってもらうための取組を積極的に行い、1.2万人のフォロワーを誇っている。

視察を通して、観光振興計画策定の重要性を改めて認識した。新宿区においても、計画を策定して特定のターゲット層に焦点を当てた情報発信を行い、効果的な誘客を行うことが、オーバーツーリズムの防止や経済効果を高めていくことに繋がるのではないかと参考になった。

6 主な質疑項目

- (1) SNSの効果的な活用について
- (2) 桂浜公園における包括的指定管理者制度導入について
- (3) 旅行会社との連携による観光案内の充実について
- (4) 主要観光地を訪れた観光客に市内全体を周遊してもらうための取組について
- (5) 訪問者の属性や行動パターン分析による観光客誘致について
- (6) インバウンド需要増加に向けた対策について
- (7) 季節ごとのユニークな企画について
- (8) 高知新港へ寄港する大型クルーズ船の外国人観光客への対応について

7 その他

【共同視察者】

文化観光産業部 新宿観光振興協会担当課長 大山 真帆子

